

愛知県議会議員 高橋 正子

2011年 冬号

高橋正子県政報告

お茶の間 PRESS プレス

皆さまの声々
県政に届けます!

ご家族の皆さままでご覧ください。

料金別納
郵便

ゆうメール

■編集/発行 高橋正子事務所
〒491-0044 一宮市大宮 1-3-6 グランドメゾン大宮 1F
TEL(0586)71-2900 FAX(0586)71-5380



〈4面〉後援会新年バス旅行ご案内

まずは防災と円高対策を重点に!

激 動の2011年も残すところ、あとわずかとなりました。3月11日に発生した東日本大震災は、その“想定外”の被害でこの世の中のすべてを大きく変えてしまいました。原発問題では電力不足による節電対策の中、多くの勤労者はそれぞれの働き方や生活のパターンを大きく変える夏となり、放射能汚染による日常生活への不安、そして食の安心・安全も大きく揺らいでいます。私たちはこの東日本大震災の教訓を「命を守る」として、今後の防災対策にいかしていかなければなりません。

さて、愛知県は今、東日本大震災の影響に加え、歴史的な円高への対応というかつてない困難な課題に直面しています。行き過ぎた円高が続けば今後、愛知県の企業の採算悪化と海外への企業進出という産業の空洞化が進み、愛知県の経済活力や雇用が失われることが懸念されます。そこで9月議会では、県内の製造業を直撃する円高対応で国に緊急措置を求める意見書を議員提案、全会一致で可決し、国へ送付しました。

11 月定例県議会が11月29日から開会します。本来なら、この議会で大村知事の公約「県民税10%減税」の議論が白熱するであろう…と予想していました。しかし、11月初旬、大村知事は本県の財政難を理由に来年度からの減税を見送る決断を下されました。私はこの決断を「現状からみて正しい決断」と理解しています。今は減税よりも他に優先してやる必要があるからです。減税を否定するわけではありません。減税は時期をみて、それからでもいいのではないのでしょうか…。

平成23年度公営企業会計決算特別委員会委員長に就任

公営企業に関しては平成21年4月に全面施行された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」において、より一層の経営の健全化が求められています。公営企業会計決算特別委員会では各事業の経営が公営企業の原則にのっとって適正に行われているか10月17日には「病院事業庁」関係の1事業会計決算を、同18日には「企業庁」関係の4事業会計決算の審議を行ない、全員一致ですべての決算を認定しました。

愛知県議会9月定例会は10月13日に閉会

愛知県議会9月定例会(9月20日～10月13日)は、国の第2次補正予算を受けた被災者生活再建支援や放射能測定機器の県内追加配備、急激な円高に対する中小企業支援などを中心とする一般会計補正予算(102億8200万円)など23議案を審議・可決。

また、台風12号、15号による豪雨が相次いで県内にも大きな被害をもたらしたことで、東海・東南海・南海の3連動地震対策とあわせて、津波や風水害への防災を問う議論が活発に交わされました。



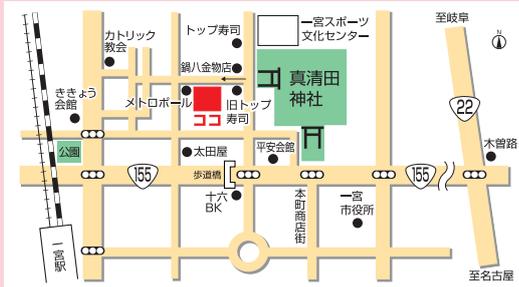
◇平成23年11月定例愛知県議会/11月29日(火)～12月16日(金)

プロフィール

- 昭和33年11月 一宮市大宮3丁目に生まれる
- 昭和57年 3月 愛知学院大学法学部法律学科卒業
- 昭和57年 4月 (株)一宮タイムス社(日刊紙)編集部入社
- 昭和63年 8月 一宮タウン情報誌「エッグ」を創刊
- 平成12年 2月 (有)お茶の間通信社を設立。現在、代表取締役
- 平成15年 4月 愛知県議会議員に初当選
- 平成19年 4月 愛知県議会議員に二期目の当選
- 平成23年 4月 愛知県議会議員に三期目の当選



事務所のご案内
〒491-0044
一宮市大宮1-3-6
グランドメゾン大宮1F
TEL(0586)71-2900
FAX(0586)71-5380



《真清田神社から西へ徒歩1分》

出前講座も承り中!
お気軽にどうぞ!



一宮タウン情報誌「エッグ」編集長としても活躍中!

県政NEWS

環境教育の国連会議(ESD) 2014年愛知開催へ!

持続可能な開発のための教育(ESD)に関する国連会議が2014年、愛知県で開催されることが決まった。ESDとは、自然保護と経済活動のバランスをとりながら地球環境を考え実践する人材育成活動で、国連は2005年から2014年を「ESDの10年」とし、その締めくくり会合。愛知県では、ESD活動の拠点となる「ユネスコ・スクール」を50校目標に指定。イベントとして全国からESD関係者が集う「ESDの10年・地球市民会議」の開催、中部大、名古屋大、三重大が主導する中部ESD拠点での2014年後の更なる10年を視野に入れた「ESD推進構想」策定などに取り組むとしている。2014年には世界各国から政府、教育、環境関係の諸団体代表から約1000人が名古屋国際会議場を主会場に集うことになる。



愛知県の放射能を測定するモニタリングポスト5台の内1台を一宮市木曾川町に設置!

放射能に対する県民の皆様の不安を解消するため、大気中などの放射能を測定するモニタリングポストやサーベイメータを県内5か所に追加配備し監視体制を強化する。大気中の放射線量を測定するモニタリングポストを2台増設予定だった県が、国の委託費を使ってさらに2台追加。一宮市と設楽町にも1台ずつ設置されることが9月県議会で議決され、これで県内のモニタリングポストは計5台となりキメ細かな観測が可能となった。県内のモニタリングポストはこれまで環境調査センター(名古屋市北区)に1台あるだけだったが、福島第一原発の事故を受けて静岡県御前崎市の中部電力浜岡原発に近い「環境調査センター東三河支所」(豊橋市)と「西三河県民事務所」(岡崎市)にもモニタリングポストを1台ずつ設置。その後、国が二次補正予算に全国にモニタリングポスト250台を設置することとしたことで、原発が多く立地する福井県に近い一宮市と浜岡原発に近い設楽町にもモニタリングポストを2011年度内に設置することとした。一宮市には県



の大気環境測定局がある木曾川消防署敷地内にモニタリングポスト(写真)が設置され、測定データは4月から毎日、県のホームページで公開される。

東海・東南海・南海地震の三連動地震の被害予測調査にいよいよ着手

平成17年に策定された本県の「第2次地震対策アクションプラン」は東海・東南海の二連動を前提。しかし、この3月11日に発生した東日本大震災の想定外の被害を教訓に、二連動にプラス南海地震が加わった三連動地震の発生確率が高まっていることで現行のアクションプランの早期見直しが見込まれている。そこで本県では、まずは東海・東南海・南海地震の三連動の巨大地震が発生した場合の被害予測調査に乗り出す。調査の前提となる想定地震は、中央防災会議で見直すこととなる東海・東南海・南海の三連動地震等の海溝型大規模地震および内陸型地震等、本県に大きな被害を及ぼす可能性の高い地震およびそれらの連動発生など複数のケースを想定。その予測調査の結果をもとに平成25年6月の策定を目指す本県の「地域防災計画」および県全体の地震対策の指針となる「あいち地震対策アクションプラン」を策定する。



愛知版「事業仕分け」に46事業が対象 11月までに見直しの「工程表」を明らかに!

本県では行財政改革へのさらなる取り組みとして、県の事業46項目を「名指し」して深掘りを行うことで行革を大幅に推進する。具体的な見直しを迫られるこの46事業の関連予算は2413億円で、関係部局がこの11月を目途に見直しを進め、各項目ごとに具体的な見直し期限などを明示した「重点改革プログラム」を策定する。

- 《重点改革46項目の一例》
- 愛知こどもの国の見直し
 - 勤労福祉会館の早期廃止
 - 循環器呼吸器病センター跡地の利活用
 - 消費生活相談体制の見直し など



(写真説明) 低利用となっている循環器呼吸器病センター跡地については早期に利活用方法を検討すべきではないかと、行革の深掘り対象項目になっている。

大村知事のマニフェスト「県民税10%減税」を来年度見送り!

11月初旬、大村知事は知事選でのマニフェストに掲げた「県民税10%減税」の24年度からの実施を見送った! 東日本大震災の発生や歴史的な円高で、法人税を中心に県税収入の回復が見込めないと判断。この29日から始まる11月定例県議会での見直し議論が白熱すると誰しもが考えていたところまで「見送り」との知事の決断に県議会は「現状を踏まえれば見送りは正しい判断」と一応に理解している。

レポート Report

宮城県の被災地へ2度訪問

七ヶ浜町

【8月18日~21日まで】

一宮市災害支援ボランティアに参加。宮城県七ヶ浜災害ボランティアセンターへ

一宮防災ボランティアネットワーク主催で宮城県七ヶ浜災害ボランティアセンターにボランティア活動に行ってきました。宮城県七ヶ浜町は仙台中心部から北東へ車で約30分。人口約21000人の小さな町。震災では10メートルを超す大津波が襲来し、死者99人、行方不明者6人を記録。一宮からマイクロバスで片道14時間かけて、七ヶ浜町ボランティアセンターへ。合同宿泊所へは寝袋持参。男女別の大部屋は寝袋も満足に敷けないほどにすし詰め状態なことには驚きました。ボランティアの仕事にはさまざまなものがあり、私はこのセンターで瓦礫の撤去と個人宅の清掃ボランティアを行ないました。



日和山公園の高台から市内を遠望



石巻市



火災により延焼した門脇小学校



【11月9日~11日まで】

《訪問先》

- 1日目…宮城県議会
- 2日目…宮城県石巻合同庁舎 石巻市内被災地現状調査 陸上自衛隊多賀城駐屯地
- 3日目…国土交通省東北地方整備局

総務県民委員会県外調査で宮城県被災地へ

宮城県の仙台市・石巻市・多賀城市へ壊滅的な被害をもたらした東日本大震災について被災状況および震災復興計画の調査に出かけました。特に、東日本大震災で人命救助と復旧支援の先頭に立った陸上自衛隊多賀城駐屯地の第22普通科連隊の訪問は印象的でした。今回の震災で自衛隊の活躍には国民全体が絶賛している中で、国友連隊長・1等陸佐から災害派遣への対応状況の説明を受け、震災後の自衛隊の活動のすごさを感動とともに知ることができました。わが県でも東海・東南海・南海の3連動地震が起きる確率が30年以内に87%と言われていますが、調査をする中で、もっと早い時期(10年から18年)に来る可能性が大…との話もあり、防災施策を急がなくては!との思いと津波の爪痕が8か月経った今もくっきりと残る状況に、あらためて東日本大震災の凄まじさを痛感しました。

LOCAL NEWS

一宮市本町商店街に東北復興支援店が、アンテナショップとしてオープン!

一宮市本町商店街「ほんまちサンプラザ」内に市街地活性化を目指す一般社団法人「まちこん一宮」が運営する東北復興支援店「いろは」がこの7月にオープン。岩手、宮城、秋田、福島など東北6県の食品や地酒を中心に販売するアンテナショップで、継続的に被災地の復興支援を「食べて応援しよう」と60種類を超える商品アイテムが並び。



TEL(0586)72-2455
営業時間10:00~17:00
月曜日定休

